

## 令和元年度における主な富山県のがん対策事業について

## I 予防の強化と早期発見の推進

## 1 がんにかからない生活習慣の確立

## ① (1) めざせ健康寿命日本一！普及啓発事業

県民の健康意識の高揚を図るため、豊富な食材や豊かな自然環境など、本県の食文化と健康をテーマとしたテレビCMやPRソングを制作し、県HPで公開するほか、「富山県民歩こう運動推進大会」等の各種イベントで積極的に活用する。

① (2) 職場対抗 生活習慣「スマートチェンジ」トリプル<sup>スリー</sup>3キャンペーン

本県のメタボリックシンドローム該当者の割合は全国に比べて高いことから、10月～11月の間、職場対抗で「運動」「食事」「睡眠」の生活習慣の改善に取り組むキャンペーンを実施する。



## (3) 生活習慣改善ヘルスアップ（健康合宿）事業

食事や運動の体験を通じて、生活習慣改善の意識向上を図る健康合宿を実施

## ① 企業連携型「健康合宿」

主に糖尿病予備軍を対象として、協会けんぽや企業等と連携して1泊2日の健康合宿の開催を支援する。

(R1 県支援分3回+補助事業者自主分12回以上=計15回以上)

【参考（これまでの成果）】合宿終了3ヶ月後の参加者の体重・腹囲の変化

⑲ 体重△3.0kg・腹囲△4.8cm ※3ヶ月後アンケート回答者(31名)の平均(参加者数31名(定員30名))

⑳ 体重△1.2kg・腹囲△6.8cm ※ (体重53名、腹囲23名)の平均(参加者数77名(定員90名))

㉑ 体重△1.0kg・腹囲△0.5cm ※ (体重99名、腹囲64名)の平均(参加者数148名(定員180名))

㉒ 体重△1.5kg・腹囲+0.06cm ※ (体重32名、腹囲25名)の平均(参加者数132名(定員160名))

R1 (現在、開催中)

(定員45名)※ ※県支援3日分の定員数

## ① ② 国保加入者向け「脱メタボ！健康合宿」

- ・ 企業連携型に加え、特にメタボリックシンドローム該当者割合が高い国民健康保険加入者向けを追加開催している。
- ・ ウェアラブル端末等を活用した「クラウド型健康管理システム」を使用して、継続的にフォローアップを実施している。

(日帰り：4回、宿泊：5回)

## (4) たばこ対策

## ① 禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

## (a) 世界禁煙デー・受動喫煙防止・

がん検診受診啓発街頭啓発キャンペーン

日 時：5月31日（金）7：45頃～

場 所：富山駅南口



内 容：「がん対策の推進に関する協定」締結企業（R1.10月時点17社）  
と連携し、普及啓発物品（ティッシュ）の配布等を実施

(b) 普及啓発物品の貸出し・配布

- ・タペストリー（世界禁煙デー、受動喫煙防止、受動喫煙防止ステッカー紹介）
- ・のぼり旗
- ・ビブス
- ・受動喫煙防止リーフレット

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

②大学生と協働した喫煙防止の取組（No Smoking Campus プロジェクト）

(a) 実施大学：富山大学（H26～）、県立大学（H27～）、富山国際大学（H28～）  
高岡法科大学（H29～）

(b) 内 容：大学生によるプロジェクトの展開  
※大学構内での禁煙キャンペーン、吸い殻調査、  
大学祭でのブース設置等



③禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介（一般社団法人日本禁煙学会ホームページへのリンク）

④健康増進法改正への対応

令和元年7月1日から改正健康増進法が一部施行されたことに伴い、法律の周知を図るため、県では病院・診療所、学校・児童福祉施設及び行政機関等、2,582施設を対象に受動喫煙防止対策等に関するアンケートを実施したところ、83%の施設で敷地内禁煙を実施

また、令和2年4月1日からの全面施行に向けて、受動喫煙防止対策推進連絡会を開催し情報交換を行った。

このほか、法律の周知用リーフレットの配布や受動喫煙防止啓発物品の配布を行い、県内関係機関等への周知啓発を行っている。

・受動喫煙防止対策推進連絡会の開催

日 時：令和元年10月17日（木）14:00～15:00

場 所：富山県民会館706号室

協議事項：職場における受動喫煙防止対策について

各団体や会員事業所等の受動喫煙防止対策の現状や課題  
今後の取組等

(5) 肝炎対策

① 広報・報道等

肝臓週間（7月22日～28日）に併せて、県内包括連携協定企業の日本郵便211局にポスター掲示や、県広報ラジオ「元気とやま情報スクエア」放送等により、肝炎を正しく理解いただくよう普及啓発を実施

また、令和元年8月4日には、日本肝臓学会が「肝がん撲滅フォーラム2019」等を開催

② 職域における肝炎ウイルス検査受検勧奨の実施

令和元年7～8月に、健康増進センター、北陸予防医学協会において、健康診断を受診された方を対象に肝炎ウイルス検査の受検勧奨を実施

③ 肝炎ウイルス検査の実施

県厚生センター・支所及び富山市保健所や県内 33 医療機関において肝炎ウイルス検査を実施

㊦ ④ 肝炎重症化予防の推進

県内市町村や厚生センターにおいて、肝炎ウイルス陽性者の受診状況等を確認し、適切な医療を受けられるよう勧奨

また、市町村や厚生センターが実施した肝炎ウイルス検査にて陽性となった方が、医療機関で精密検査を行った場合に、精密検査費用を助成。今年度から、職場での肝炎ウイルス検査で陽性となった方に対しても、初回の精密検査の費用を全額助成予定

⑤ 肝炎医療費の助成

(a) 肝炎治療特別促進事業（所得に応じて自己負担額 1 万又は 2 万円）

抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、及び核酸アナログ製剤治療）に係る医療費を助成

(b) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（自己負担額 1 万円（所得制限あり））

県が指定する医療機関において B 型・C 型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変治療のために 1 年間に 4 回以上入院された方の医療費を助成

⑥ 肝炎医療コーディネーター研修会の開催

(a) 富山県肝炎医療コーディネーター養成研修会（H24～）

令和元年 8 月 30 日開催 参加者 39 名

（累計養成者：304 名）

・地域で中心となり肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨等の支援を進める人材を養成

(b) 富山県肝炎医療コーディネーター継続研修会（H30～）

令和元年 9 月 9 日開催 参加者 21 名

・肝炎医療コーディネーターの継続的な技能の向上と相互の連携の強化



R1.8.30 養成研修会の様子

## 2 がんの早期発見体制の強化

### (1) がん検診受診に関する普及啓発



#### ○啓発イベントの実施

各種のイベントを活用した啓発キャンペーンを実施

##### ①春（検診開始時期）

例年、街頭キャンペーンを実施している「世界禁煙デー」に併せて、各市町村と連携したがん検診普及啓発を実施

日 時：令和元年5月31日（金）（世界禁煙デー） 7：45～8：30（県）

場 所：（県） 富山駅南口

（各市町村） 駅やショッピングセンター等、PRが効果的に実施できる場所

内 容：駅や店舗入口でのティッシュ等の配布、のぼり旗による啓発等

令和元年度は、希望のあった12市町村へ啓発物品の提供等の支援を実施

##### ②秋（がん征圧月間～ピンクリボン月間）

「越中とやま食の王国フェスタ 2019 秋の陣」において、がん検診啓発用ブースを設置して普及啓発を実施予定

日 時：令和元年10月26日（土）27日（日）

場 所：テクノホール（富山産業展示館）

内 容：がん検診啓発ブースを設置し、乳房触診モデルの展示やがん検診啓発DVDの放映、がん検診啓発物品の配布等



### (2) 職域におけるがん検診受診率向上のための取組み

#### ㊦ ①健康経営シンポジウムの開催

企業における健康経営の取組みやがん治療と仕事が両立できる環境づくりを推進するため、企業の経営者や人事労務担当者を対象としたシンポジウムを開催するもの。

日 時：令和元年12月16日（月）13:30～16:00（開場13:00）

場 所：タワー111 3F スカイホール

参加者：企業の経営者や人事労務・健康管理推進担当者 等

内 容：とやま健康経営企業大賞表彰式

パネルディスカッション

がん対策に積極的に取り組む企業による講演

## ② がん検診受診率向上出前セミナーの実施

健康経営を念頭においた企業のがん検診受診率向上を目指し、企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に県が講師を派遣し、企業におけるがん対策の推進を図るもの。

※講演テーマは、①医師による予防や治療に関する講演、②各がん種の専門医による講演（胃、肺、大腸、乳、子宮）、③がん経験者やその家族による講演、以上の3つから選択

## ③ がん予防推進員による普及啓発

「がん対策の推進に関する協定」締結企業（17社）の社員でがん検診の重要性をPRするがん予防推進員を養成（令和元年10月時点549名）

## （3）市町村のがん検診受診率向上に向けた取組み

### 節目検診・重点年齢検診推進事業

市町村の節目年齢検診（5歳毎）や重点年齢検診（胃がん：50代のうち節目を除く2回、乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における受診料軽減を支援するもの。

## （4）女性がんの予防・早期発見に向けた普及啓発

### ㊦ がん検診受診啓発フォーラム等の開催

本県の子宮頸がん検診受診率は、20歳代の受診率<sup>※1</sup>が全国平均を下回っている。また、乳がんの年齢調整罹患率<sup>※2</sup>が全国より高く、特に40歳代、50歳代の働く世代の乳がん死亡率<sup>※3</sup>が全国に比べて高いことから、女性がんの早期発見・早期治療を推進するため、女性がんに関する正しいとがん検診の必要性について理解を深め、がん検診受診率を向上するため、フォーラム及び啓発活動を開催

※1 平成27年度の20代子宮がん検診受診率：県20.3%、全国21.1%（地域保健・健康増進事業報告）

※2 平成26年の罹患率（人口10万対）県95.6、全国82.9（国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計」）

※3 平成28年の40～59歳の乳がん死亡率：県26.1、全国21.1（厚生労働省「人口動態統計」）

### ① 啓発活動

日時：令和元年9月14日（土）15:30～16:30

場所：富山駅南口駅前広場マリエ前スペース

内容：啓発物品（ポケットティッシュ、クリアファイル）約500部配布  
のぼり旗の設置等。

参加機関：県及び富山大学ボランティアサークルMEETS

### ② フォーラム

日時：令和元年9月22日（日）13:00～16:00（開場12:30）

場所：富山国際会議場3階メインホール・ホワイエ

参加者：県民 約200名

内容：基調講演：「元気でも「もしも」のためです がん検診」

中山 富雄 氏（国立がん研究センター 社会と健康研究センター検診研究部長）

活動発表：ブース出展・協力団体による知って役立つ情報紹介

トークショー：「前を向いて」

矢方 美紀 氏（タレント・声優）

各種ブースの出展（患者会、検診センター、相談支援センター等）

③ 施設のピンクライトアップ

10月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施

実施場所：富岩運河環水公園、県庁前公園、インテック本社ビル（株式会社インテックによる実施）



④（５）がん検診推進強化事業

事業所等におけるがん検診受診率の向上、「働き方改革」の推進を図るため、事業所でのがん検診の実施体制や、従業員の受診状況、受診しない理由等の実態を把握し、調査で明らかになった好事例を周知する。

①事業主向け調査

対 象：県内 1,800 事業所

内 容：がん検診実施体制、受診者数、受診のための工夫、検診を実施しない理由、治療と仕事の両立支援に係る制度等

調査時期：令和元年 10 月 7 日～11 月 1 日

②従業員向け調査

対 象：事業主向け調査対象から事業所規模に応じて層化抽出 3,000 人

内 容：受診したがん検診、受診のきっかけ、検診を受けない理由、がんに罹患した方や身近にがん患者がいる方ががん検診に対するイメージ等

調査時期：令和元年 10 月 7 日～11 月 1 日

③がん検診受診率向上に取り組む事業所の好事例の横展開

調査結果から、がん検診の必要性について、社員へ啓発している事業所や、検診受診のための休暇制度の導入、勤務時間中の検診受診促進等に取り組む事業所の事例をリーフレットにまとめ、検診受診の必要性等を啓発

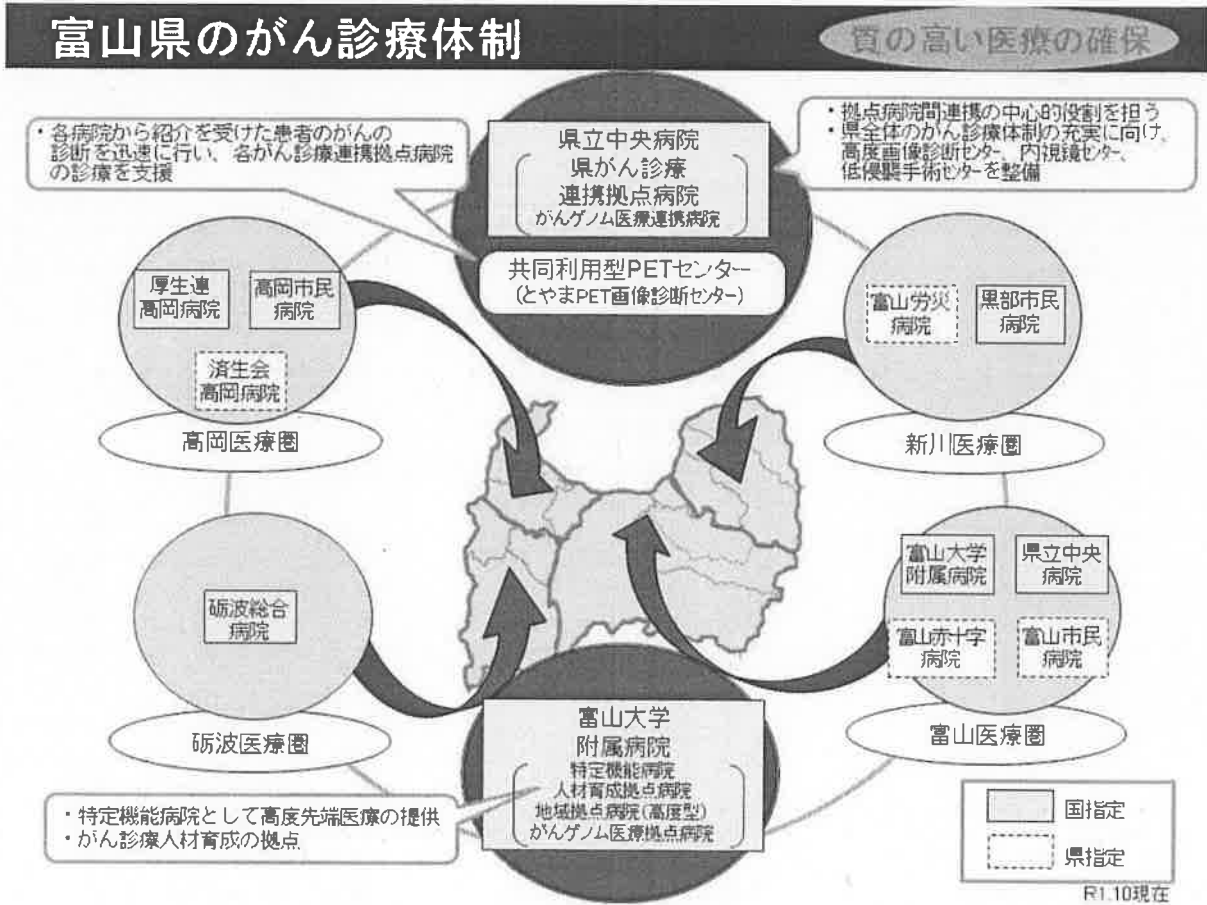
## Ⅱ 質の高い医療の確保

### 1 質の高い医療が受けられる体制の充実

#### (1) 富山県のがん診療体制の強化

- ①本県では、医療圏毎の医療機関が連携して、限られた医療資源及び機能を相互補完している。すなわち、研修会の開催等の人材育成やがん情報の収集と発信等を始めとする患者支援体制の構築に複層的に取り組むことにより、県内の各病院の機能を“点”から“面”として機能させ、県全体のがん医療水準の向上を図っている。
- ②また、専門的な機能としては、県がん診療連携拠点病院である県立中央病院と特定機能病院の富山大学附属病院が、2次医療圏の地域がん診療連携拠点病院と連携し、難治性がん、特殊ながん、小児がん等の治療を対応し、富山労災病院はアスベストによる悪性中皮種等の診断を行っている。
- ③さらに、がんゲノム医療を提供する医療機関として、富山大学附属病院が「がんゲノム医療拠点病院」に、富山県立中央病院が「がんゲノム医療連携病院」に指定されている。

(参考 富山県のがん診療体制)



## (2) がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

がん専門分野における質の高い看護師を育成し、がん患者に対する看護ケアの充実を図るための「がん看護臨床実践研修」を実施

令和元年度は、県看護協会（県委託）により令和元年7月16日（火）～8月5日（月）までの15日間（土日を除く）で実施。拠点病院等ががん看護に従事している看護師16名が参加

## (3) がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

令和元年9月16日（月）に、本県唯一のがんゲノム医療拠点病院である富山大学附属病院により、京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学 教授 武藤 学 氏を講師に招へいしたがんゲノム医療市民公開講座が開催された。

## 2 調査・研究の推進

平成25年12月に公布された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」\*を平成28年1月1日から実施している。

※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

### (1) 全国がん登録による罹患数(2016年)

富山県罹患数：9,247\*<sup>1</sup>

全国罹患数：995,131\*<sup>1</sup>

※<sup>1</sup> 上皮内がん除く（出典：平成28年全国がん登録 罹患数・率報告）

### (2) 実務者講習会の開催

県では、実務面での習熟度の向上や制度周知のため、病院等の実務担当者向けの講習会を開催

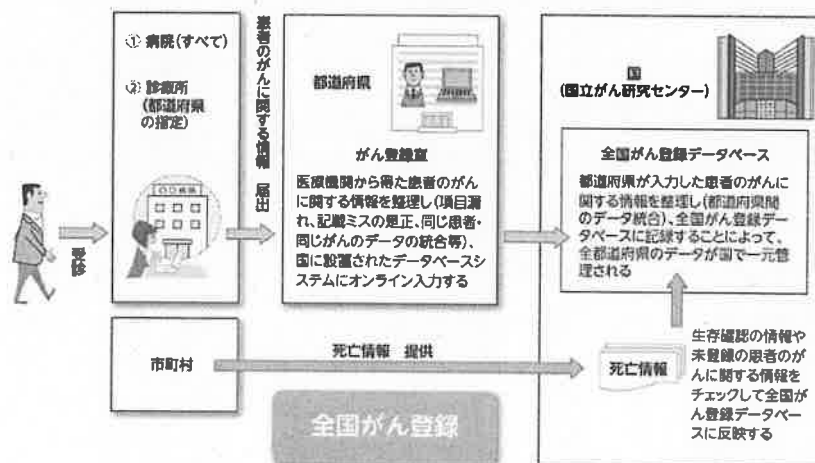
①日 時：令和元年12月14日（土）

②場 所：富山県立中央病院 診療棟5階ホール

③講 師：福井県立病院 病理診断科主任医長 海崎 泰治 氏  
（演題「院内がん登録について」）

④その他：県診療情報管理研究会主催（県後援）

### 【2016年1月から開始した全国がん登録の仕組み】



出典：国立がん研究センターホームページ がん情報サービス



### Ⅲ 患者支援体制の充実

#### (1) 富山県がん総合相談支援センターの運営

設置：平成25年9月2日（委託：県社会福祉協議会）

趣旨：がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応するとともに、がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として設置

業務：①相談／平日9時～16時 土13時～16時

②情報提供

③ピアサポーター養成・育成・活動支援

④患者等の交流支援 等

相談員：看護師4名により対応



相談時の様子

	平成30年度（実績）	令和元年度
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 1,160件</li> <li>看護の日「出前がん支援相談」</li> <li>働く人の日曜相談会（2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談対応</li> <li>看護の日「出前相談」</li> <li>働く人の日曜相談会（年2回）</li> </ul>
情報提供	図書 約380冊（雑誌含む） ※図書貸出 21冊 小冊子（約90種類 国立がん研究センター編） センターホームページ 随時更新 ポスター・チラシ配布（病院・自治体） ⑤県立図書館企画展示 がん情報とやま 改訂支援 ヘルスボランティア等への講演 等	図書 約380冊（雑誌含む） ※図書貸出等 小冊子（約100種類） 県立図書館企画展示 「がん征庄月間 2019」 ※がん総合相談支援センター活動紹介展示 がん情報とやま 改訂支援 ヘルスボランティア等への講演 等
がんピアサポート活動 養成・育成 活動支援 がんピアサポーター養成 目標155名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアサポーター養成講座9回 修了者16名 活動登録者（H31.4月現在）89名</li> <li>ピアサポーターフォローアップ研修 4回 受講者110名</li> <li>ピアサポート活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>①センター（交流サロン）：12回 ※参加者179名</li> <li>②拠点病院（患者サロン）：42回 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合、富山赤十字、高岡市民、厚生連滑川にて実施 ※参加者376名</li> <li>③グリーンケアの会：6回 がんで大切な人を亡くされた方の悲嘆、喪失感等の気持ちに寄り添い支援を実施（参加者39名）</li> <li>④がん教育での講師 自らの体験と命の大切さを語る 等 ※富山市立杉原中学校、富山市立速星中学校、小矢部市立東部小学校の3校で実施 ※参加者426名</li> <li>⑤がんピアサポーターによる講演 ※NHKフォーラム、県研修会等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアサポーター養成講座開始（24名参加）</li> <li>ピアサポーターフォローアップ研修（年4回）</li> <li>ピアサポート活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>①センター（交流サロン）12回 毎月第4土曜日 13:30～15:30</li> <li>②拠点病院（患者サロン） 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合、富山赤十字、高岡市民、厚生連滑川、富山市民、済生会高岡にて実施</li> <li>③AYA世代交流サロン「Friend」：3回</li> <li>④グリーンケアの会（6回開催）</li> <li>⑤がん教育での講師 自らの体験と命の大切さを語る 等 ※富山市立上滝小学校、富山市立堀川南小学校、高岡聴覚総合支援学校の3校で実施予定</li> <li>⑥がんピアサポーターによる講演 ※がん検診受診率向上出前セミナー ※企業等が開催するセミナー等での講師</li> <li>⑦健康づくりボランティア等への講演</li> </ul> </li> </ul>
講演会	⑤・AYA世代 公開シンポジウム H30.11.25（日） 参加者48名	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児・AYA世代のがん講演 R1.10.9（水） 参加者51名</li> </ul>
患者会支援 他との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時（患者会代表者との連携）</li> <li>拠点病院相談支援部会への参画</li> <li>拠点病院相談員情報交換会開催</li> <li>拠点病院相談員研修会に参画</li> <li>国・県の労働関係部局との連携</li> <li>県立図書館との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時（患者会代表者との連携）</li> <li>拠点病院相談支援部会への参画</li> <li>拠点病院相談員情報交換会開催</li> <li>拠点病院相談員研修会に参画</li> <li>国・県の労働関係部局との連携</li> <li>県立図書館との連携</li> </ul>

## (2) 小児・AYA世代のがん講演会の開催

小児・AYA世代（思春期世代と若年成人世代）のがんを理解するための関係者講演会を開催

日 時：令和元年 10 月 9 日（水）13:30～16:00（受付 13:00～）

場 所：富山県民会館 7 階 701 号室

主 催：社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県がん総合相談支援センター（県委託事業）

参加者：医療機関の看護職、行政保健師、学校関係者 等 51 名

内 容：①講演 「富山県における AYA 世代のがんの現状について」

野村 恵子 氏（富山大学医学部小児科准教授）

②講演 「AYA 世代のがん患者が抱える問題」

樋口 麻衣子 氏（富山大学附属病院看護師、AYA 世代のがん体験者）



R1.10.9 小児・AYA世代のがん講演会の様子

## (3) 県内 10 か所のがん診療連携拠点病院における相談

①がん相談支援センター相談実績 4,798 件（平成 30 年度）

②長期療養者就職支援相談窓口の設置（富山労働局・ハローワーク）

富山労働局、富山ハローワーク等とがん診療連携拠点病院と協定を締結し、拠点病院等において、出張相談窓口を開設し、がん患者等の再就職を支援している。

開設場所：県立中央病院（平成 28 年 7 月～）

富山市立富山市民病院（平成 29 年 3 月～）

富山大学附属病院（平成 30 年 9 月～）

## (4) 富山県地域両立支援推進チームによる就労支援

富山労働局において、7 月 24 日に富山県地域両立支援チームを開催し、治療と仕事の両立支援に関する事業等について、がん診療連携拠点病院等関係機関と連携して啓発している。

内容：・事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインの普及（厚生労働省 平成 31 年 3 月改訂版）

・企業・医療機関連携マニュアルの普及（厚生労働省 平成 31 年 3 月改訂版）

・両立支援に関する事業主向け、従業員向けリーフレット配布等